

# 教育だより

第174号

平成28年(2016年)2月3日

練馬区教育委員会

練馬区豊玉北 6-12-1

☎3993-1111

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikulink.html>

## 光が丘子ども家庭支援センター分室

# 光が丘ぴよぴよ(ひろば室)が1月12日にオープン!!

区では、光が丘子ども家庭支援センター分室(光が丘5-2-5-105)を開設し、それまで光が丘子ども家庭支援センター(光が丘区民センター6階)で実施してきた「光が丘ぴよぴよ」の子育てのひろば事業を移転させ、「光が丘ぴよぴよ(ひろば室)」として運営しています。これにより、子育てのひろば事業の開室日等を拡大し、サービスの充実を図っています。

※ 子育てのひろば…0～3歳までの親子が自由に遊び、交流を図ることができる場。

拡大内容

**実施日** 週5日(月・火・木～土)  
※ 年末年始を除く

週6日(月～土)  
※ 年末年始除く

※ 4月以降週7日に拡大予定

**開室時間** 10:00～16:00

9:00～17:00

また、ひろば事業が移転することで、光が丘子ども家庭支援センターでは、「光が丘ぴよぴよ(一時預かり室)」として乳幼児一時預かり事業を充実拡大しています。

※ 乳幼児一時預かり…生後6か月～未就学児を対象に、理由を問わず預けることができます。事前登録が必要です。

拡大内容

**実施日** 週2日(水・日)  
※ 年末年始を除く

週7日

※ 年末年始除く

**定員** 12名(事前予約枠のみ)

15名(事前12名/当日受付3名)

※ 当日受付は専用電話でのみ受け付けます。

【問合せ】 事業の拡大については 練馬子ども家庭支援センター〔電話 3993-8155〕  
事業の利用については 光が丘ぴよぴよ(ひろば室)〔電話 3979-8101〕  
光が丘ぴよぴよ(一時預かり室)〔電話 5997-7763〕

## 「練馬区教育・子育て大綱」の策定を進めています

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、教育に関する目標や施策の根本的な方針について、民意を代表する自治体の長が教育委員会と十分に協議し、「大綱」を策定することとなりました。大綱は、地域住民の意向を反映し、教育や福祉などの施策間の連携を進めるためのものです。

区では、昨年4月から総合教育会議を5回開催し、活発な意見交換を行ってきました。12月には、教育と子育てのそれぞれの分野における施策の目標や取組の方向性を体系的に整理し、重点となる施策を示した大綱の素案を取りまとめ、区民意見反映制度に基づいて、ご意見を募集しました。

平成28年1月20日(水)に開催した第5回総合教育会議では、いただいたご意見をもとに、大綱に反映させる内容を決定しました。2月中には大綱を策定する予定です。



総合教育会議の様子

【問合せ】 総務課 総務係〔電話 5984-2600〕

# 平成27年度 練馬区教育委員会児童・生徒表彰

練馬区教育委員会では、様々な活動の場において一生懸命努力している子供たちを応援するため、児童・生徒表彰を行っています。平成27年度の表彰式は、平成28年1月21日(木)に生涯学習センターで行われ、スポーツ・文化芸術などで活躍した、個人156名と団体5組を表彰しました。

## 個人の部

(敬称略)

学校名	氏名	表彰内容
豊玉小学校	田中 菜乃	ポスター
	荒川 菜憂	サッカー
	久保田 心莉	サッカー
	松崎 菜子	サッカー
豊玉東小学校	泉 遼太郎	空手
豊玉南小学校	長澤 樹里	サッカー
中村小学校	畠山 裕登	珠算
	浅倉 龍風	空手
早宮小学校	竹村 柚香	ラグビー
	長友 順平	ラグビー
開進第一小学校	宮川 虎太郎	空手
	後藤 優実	サッカー
	柳澤 光渚	チアダンス
	石原 玲菜	ミニバスケットボール
	大澤 千紘	サッカー
	鳴海 清風	サッカー
開進第二小学校	間 真子	サッカー
	糟谷 はるか	サッカー
開進第三小学校	森屋 葵	サッカー
	中村 文	空手
開進第四小学校	中川 耀	ラグビー
	多田 あさひ	サッカー
仲町小学校	植松 佑成	算数
	青木 もも	サッカー
	佐藤 彩夏	ミニバスケットボール
	牧口 真緒	ミニバスケットボール
	和久田 愛乃音	ミニバスケットボール
	小松 瑞季	ミニバスケットボール
	鈴木 花梨	サッカー
	田中 莉桜	ミニバスケットボール
南町小学校	蕪木 慎太郎	ラグビー
	松尾 明日香	ラグビー
北町小学校	小松 萌衣子	ミニバスケットボール
	佐藤 亜美	チアダンス
	稲木 優成	空手
	横尾 文紀	ミニバスケットボール
	浅井 美玲	ミニバスケットボール
	大塚 美空	ピアノ
練馬小学校	小松 日向子	ミニバスケットボール
	濱添 綾乃	ミニバスケットボール
	島崎 太志	ラグビー
	木村 萌乃佳	サッカー
練馬第二小学校	背戸 羽蘭	サッカー
	渡辺 耶斗	自転車
練馬第三小学校	船越 彩椰	水泳
練馬東小学校	谷山 詩織	相撲
	西野入 元希	ラグビー
旭町小学校	向山 天珠	バドミントン
	浅川 あずさ	体操
高松小学校	大岩 真海羽	水泳
	丹羽 里歩子	サッカー
	五十嵐 美結	ソフトテニス
春日小学校	廣田 遥愛	書道
光が丘春の風小学校	梅村 達哉	珠算
光が丘夏の雲小学校	高山 恵	空手

学校名	氏名	表彰内容
光が丘秋の陽小学校	星 幸樹	空手
光が丘第八小学校	竹葉 智子	水泳
石神井小学校	永井 塔麻	水泳
石神井西小学校	吉岡 桜子	卓球
上石神井小学校	船津 紫吹希	水泳
	大堀 新	水泳
	長岡 桜子	体操
上石神井北小学校	三浦 健太郎	水泳
	岩村 凜太郎	将棋
光和小学校	高田 茉奈	陸上
	貞弘 柊	ポスター
	宇治原 あすか	サッカー
	保芦 一弾	ポスター
谷原小学校	齋藤 志緒	空手
	小山 颯	剣道
	近藤 咲枝	サッカー
	中村 亮太	ラグビー
北原小学校	二橋 礼奈	空手
	野村 洸道	空手
大泉小学校	中村 遥空	紙飛行機競技
	関口 男	ラグビー
大泉第一小学校	久保田 歩	空手
	益子 芽里	陸上
大泉第三小学校	片山 あやめ	陸上
	松野 隼見	ラグビー
大泉第六小学校	小原 美希	ショートテニス
	柴田 航希	空手
	岩西 真那	バドミントン
	古本 追風	サッカー
大泉東小学校	石井 桃華	サッカー
	笠川 智史	柔道
	日野 希美	新聞感想文
大泉南小学校	井 龍馬	陸上
	有村 美希	書道
	剣持 将作	卓球
大泉学園小学校	鈴木 蒼大	トランポリン
	高山 愛斗	柔道
	丸山 雄太	トランポリン
大泉学園緑小学校	山本 湊	空手
南が丘小学校	轟 陽菜	水泳
富士見台小学校	土屋 舜	レスリング
八坂小学校	清水 蔵之介	ゴルフ
	浅倉 穂鷹	空手
中村中学校	今江 康介	硬式野球
	沖原 奈津子	作文
	石本 有優菜	ダンス
	境 悠太	スキー
	畠山 大豪	硬式野球
	開進第二中学校	万波 中正
開進第三中学校	竹下 陽喜	ロボット競技
開進第四中学校	佐藤 彰展	ダンス
	原 健	硬式野球
練馬中学校	木下 優成	硬式野球
練馬東中学校	笠井 桜李	水泳

学校名	氏名	表彰内容
田柄中学校	川井 凜	水泳
	伊藤 匠	トロンボーン
	川井 優	水泳
	原田 智大	硬式野球
光が丘第一中学校	室木 未菜	水泳
	諸藤 駆	硬式野球
光が丘第四中学校	山上 大輝	空手
石神井中学校	川村 真弘	水泳
	櫻井 更紗	書道、ポスター
	中村 勝太	ロボット競技
石神井東中学校	小番 海人	空手
	柴崎 充志	硬式テニス
	真庭 稔	硬式テニス
	秋葉 太郎	硬式テニス
石神井西中学校	奈良谷 弦	硬式テニス
	矢崎 真衣	水泳
石神井南中学校	中村 咲希	トランポリン
上石神井中学校	辻 翔太	硬式野球
谷原中学校	浦田 純也	陸上
	川端 康輔	陸上
	田代 楽	陸上
	吉田 順哉	陸上
	宮 惇十	陸上
三原台中学校	竹田 正悟	陸上
	小林 達哉	陸上
大泉中学校	岩西 理玖	バドミントン
	藤崎 敦也	水泳
	岩田 佳音	硬式野球
	豊田 望	体操
大泉北中学校	大口 真奈	体操
	青木 颯汰	硬式野球
大泉学園中学校	梁田 千鶴子	珠算
	岡嶋 里歩	トランポリン
	高橋 優祐	硬式野球
関中学校	菊 美穂	水泳
	木村 佑	水泳
	土屋 菜々	水泳
	伊藤 麻衣	ウエイトリフティング
	小川 大輝	剣道
	佐藤 未奈	水泳
	長島 実桜	水泳
	中畠 凜太郎	硬式野球
吉田 翔	剣道	
八坂中学校	牧内 大斗	硬式野球
	堂園 鷲	空手
大泉桜学園	上根 悠一智	ラグビー
	田中 勇成	ラグビー

## 団体の部

学校名	団体名	表彰内容
旭丘中学校	吹奏楽部	吹奏楽
北町中学校	吹奏楽部	吹奏楽
石神井中学校	吹奏楽部	吹奏楽
石神井東中学校	男子硬式テニス部	硬式テニス
関中学校	剣道部	剣道

【問合せ】教育総務課 庶務係〔電話 5984-5609〕

## 練馬区いじめ等対応支援チームの取組について

練馬区では、平成24年10月よりいじめ等対応支援チームを設置しています。このチームは、練馬区立学校および幼稚園におけるいじめの問題をはじめとした児童・生徒の健全育成に関する問題について、学校と教育委員会が情報を共有し、未然防止と早期解決に向けた実効性のある取組を行うためのものです。平成27年度はすでに2回の会議を行い、主に次の内容について協議しました。

- (1) 練馬区におけるいじめの状況と対応
- (2) 平成27年度いじめ一掃プロジェクト
- (3) 平成27年度インターネット・携帯電話等の利用に関する実態の調査

平成26年度における練馬区の児童・生徒に関するいじめの状況は、平成25年度に比べ、件数は減少傾向にあります。しかし、一部の未解決のいじめについては、担任の教員が一人で問題を抱えてしまい、初期対応が遅れるなどの課題がありました。会議では、学校がより迅速に、かつ組織的に対応していくための方策を中心に協議しました。また、今年度はインターネットや携帯電話等におけるいじめに関する実態調査を行った結果をもとにして、学校での指導や家庭への啓発方法等について検討を進めていく予定です。

先月の25日には、「いじめ防止実践事例発表会」を開催し、いじめ防止に関して特色ある取組を行っている学校（園）が発表を行いました。あわせて、児童・生徒が取り組んだ「いじめ防止ポスター」の優秀作品の表彰を行いました。練馬区の子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう、今後もいじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組を充実していきます。

【問合せ】教育指導課 指導主事〔電話 5984-5759〕

ぬかってなあに？

## 旭丘小学校・豊溪小学校にて 練馬大根の種まきからたくあん作りまでを行いました

平成27年12月21日（月）に旭丘小学校の3年生24名と特別支援学級の10名、および12月24日（木）に豊溪小学校の4年生54名が「練馬大根のたくあん作り」にチャレンジしました。講師には練馬漬物事業組合の平野哲夫さん（サン食品工業株式会社代表取締役）をお招きし、子供たちが代々受け継がれている「たくあん作り」を体験することで、地域に古くからある伝統産業を知り、伝統を守ろうとする気持ちを育むことを目的として行われました。



ぬかってしょっぱいけどおいしい!



おいしいたくあんになりますように

子供たちは、これまでに大根の種まき、収穫、大根干し作業に取り組んできましたが、今回は、干した大根の漬け込みを体験しました。20日後には、漬けたたくあんの試食をします。

「たくあん作り」に参加した子供たちからは、「ぬかというものを初めて知り、食べてみたらおいしい味がした」「早くたくあんを食べてみたい」という声がありました。

【問合せ】教育総務課 庶務係〔電話 5984-5609〕



## 第34回練馬区学校保健大会を開催



平成27年12月10日（木）に練馬文化センターで、保護者、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、区立学校教員など約450人が参加して、「練馬区学校保健大会」を開催しました。

大会では、練馬区学校歯科医会の郷家英二先生が、「給食後の歯みがきと歯肉の状況について～口腔写真を用いた歯肉の判定～」をテーマに、西村滋美先生が、「特別支援学級におけるアンケート調査の報告～お口の健康と食習慣について～」をテーマに研究発表を行いました。

また、「腸内細菌が健康長寿を決める～大切な腸内環境コントロール～」をテーマに、理化学研究所の辨野義己先生による特別講演もありました。

練馬区学校保健大会は、今年で34回を迎えることができました。これからも、学校保健の関係者が一堂に会するこうした機会を通じ、学校保健の今日的課題について共通理解を深めることで、学校保健のより一層の充実向上を図っていきたいと思います。

【問合せ】教育総務課 学校保健係〔電話 5984-5729〕



第34回 練馬区学校保健大会

## 平成27年度の区立幼稚園・小中学校の研究発表

教育委員会では、区立幼稚園、小中学校、小中一貫教育校の中から毎年20校（園）程度を「教育課題研究指定校」として指定し、幼児・児童・生徒の学力や体力の向上、心の教育の充実などの教育課題に関する研究を支援しています。今年度の指定校21校の中から、すでに研究発表会を実施した4校（園）の取組を紹介します。

### 開進第二中学校（10月23日発表）

体験活動を通して思いやりの心を育てる教育の推進  
—全教育活動を通して 小中一貫教育の視点から—

本校では、昭和47年度から人権教育の推進に取り組んでいます。全教育活動を人権尊重の理念に基づいて指導することと、様々な人権課題に関わる差別意識の解消を目指した指導の両面から、学習のねらいや目標に基づき、実践研究を重ねてきました。

ボランティア体験や障害の理解を踏まえた上での介助体験、同和問題をはじめとする人権課題についての理解を深めることで、生徒に人権尊重の精神を培うことができました。



（第1学年 アイマスク体験と移動介助の体験の様子）

### 小中一貫教育校大泉桜学園（11月6日発表）

桜学精神 —自らを成長させる心構えと実践力を養う小中一貫教育—【全教科・全領域を通して】

これまでの研究の成果をもとに、小・中学校の義務教育9年間を一つのまとまりとして、基礎的・基本的な学習内容の定着を目指す指導計画「さくらベーシック」を作成しました。

学習内容の系統性や児童・生徒の発達段階に応じた指導の重点、つまずきやすいポイントを明確にし、「さくらベーシック」を活用して、児童・生徒が学習した内容を確実に身に付けられるように、指導方法や教材等の工夫に取り組みました。



（第5学年 英語科教員とALTによる授業の様子）

### 春日小学校（11月20日発表）

運動を楽しむ児童の育成 —できる喜びを味わわせる体育指導—

「できた」「うまくなった」と児童が実感できる体育授業の改善を目指して研究に取り組みました。また、日常的に運動に親しむ機会を増やす観点から「全校一斉運動遊び」を取り入れ、様々な運動遊びを経験できる場を設定してきました。

体育授業では運動する時間を確保し、児童に身に付けさせたいことを明確にして指導にあたりました。アンケート調査の結果では「運動が好き」「運動をもっとしたい」と肯定的な回答をした児童が増えました。



（第1学年 ボール投げゲームの様子）

### 光が丘さくら幼稚園（12月4日発表）

豊かに感じ表現する子供をはぐくむ —話す・聞く・伝え合う喜びを感じられる援助を考える—

幼児が心揺さぶられる体験を通して、様々な感情を味わうこと、そしてそれを自分なりに表現し、その表現が受け止められていくことで、豊かな感性が育まれると考えました。研究を進めるにあたっては、幼児が生活の中で生き生きと思いを伝え合い、喜びを感じられるよう、豊かな体験活動を大切にしてきました。

「何でも言える、何でも聞いてもらえる」という幼児と教師との安心感のある関係づくりにより、幼児が話す・聞く、伝え合う喜びを感じることにつながりました。日常生活の中で、自分で思ったことを進んで表現していく幼児の姿がたくさん見られるようになりました。



（研究発表会における講演の様子）

【問合せ】教育指導課 指導主事（電話 5984-5759）

# 学校応援団の紹介

## No.18



「学校応援団」は地域の方々を中心となって、放課後の児童の遊び場を確保し、異年齢児の交流と読書の推進を図る「ひろば事業」を実施しています。今回は、2つのひろばで行われたイベントをご紹介します。

### 開進第三小学校応援団 サンサンひろば

開進第三小学校「サンサンひろば」では、12月にひろばと学童クラブの連携イベントを行いました。当日は、校庭でひろばと学童クラブの児童が混合のチームになって、じゃんけん列車やドッジボールの試合を行いました。最後、優勝した児童にメダルが授与されました。寒い日でしたが、子供たちは校庭を元気いっぱい走り回っていました。



じゃんけん列車は長い列になりました



ドッジボールで白熱!!



### 石神井西小学校応援団 西っ子ひろば

石神井西小学校「西っ子ひろば」では、12月に「手作り飛行機あそび」のイベントを行いました。子供たちは、講師の方から作り方を教わり、発砲スチロールの素材で飛行機を作りました。両面テープを剥がすのに悪戦苦闘した子もいましたが、みんな飛行機作りを楽しんでいました。ひろばと学童クラブで総勢百名くらいの子供たちが、作った飛行機を校庭で飛ばし、友達同士で飛ばす距離を競うなどして楽しく遊んでいました。



体育館で飛行機を作りました



遠くまで飛ばせるかな?



【問合せ】子育て支援課 学校応援団・開放係〔電話 5984-1057〕



## 伝承行事 餅つき



素敵な新年を迎えるために

下石神井第三保育園



下石神井第三保育園では、12月に餅つきを行いました。餅つき当日、園児は大小の臼を囲んで座り、そこに調理室で蒸したもち米が運ばれて来ると、立ち上る湯気に歓声が上がりました。

もち米を潰すように保育士がつき始めると、園児の「よいしょ!」「よいしょ!」という応援の声にも自然と力が入ります。

園児を代表して年長児ももち米をつき、大きな鏡餅を作り上げました。他のクラスの園児は餅に顔を近づけ、香りを嗅いだり、指で触り「柔らかいね」「お餅の匂いがする」などと興味深げに話していました。その後、年長児は食紅を加えた紅白の餅を使って餅花を作りました。枝は散歩の時に一

人ひとりが見つけたものです。伸びたり、くっついたりする餅を枝に飾ることは想像以上に難しい作業ですが、感触を楽しみながら紅白の色や重さのバランスを考え丁寧に取り組んでいました。

完成した餅花を飾った玄関先では、25個の餅花が新年を迎える華やかな雰囲気彩を添えました。登降園時にこの餅花を見た親子が餅つきのことを思い出し、楽しそうに話していました。毎年恒例の行事ですが、新年が健康で元気に過ごせるようお願いしながら、餅つきを行っています。

【問合せ】保育課 管理係〔電話 5984-5839〕



科学講演会

# 生き物っておもしろい! Unusual Animal Behaviour Explained

なぜ?動物たちの  
不思議な行動!



主催 練馬区

イグ・ノーベル賞受賞博士のサイエンストーク  
平成28年2月20日(土) 午後2時~3時30分(開場1時30分)

イグ・ノーベル賞

ユーモアあふれるユニークな研究に授与、  
科学のおもしろさを伝えてくれます。



講演:  
**Victor Benno Meyer-Rochow** 博士  
(ヴィクトール・ベノ・マイヤー・ロホ)  
.....  
2005年  
イグ・ノーベル賞受賞(ハーバード大学)  
「ペンギンの排泄時にかかる圧力」

生き物は不思議だらけ  
あれ? どうして?  
なんで? ほんと?  
でも、そんな不思議にも  
理由(わけ)がある  
のです。生き物のユー  
モアあふれる「なぞ」  
を明かしてくれます。

ドイツ ヤコブ大学教授(生物学)  
フィンランド オウル大学(生理学)  
オーストリア国立大学(学術・理学博士)  
ニュージーランド ワイカト大学  
南極調査チームリーダー  
日本学術振興会・客員教授  
三重大学・横浜市立大学・浜松医科大学等にて研究など、  
これまで多数の研究機関等で活躍



主な対象: 区内小学生・中学生および保護者  
200名

場 所: 練馬区生涯学習センターホール  
西武池袋線 練馬駅下車徒歩10分  
(練馬区豊玉北6-8-1)  
車ででの来場はご遠慮ください。

申 込 み: 電話で、学校教育支援センターへ  
申込み期間: 平成28年2月1日(月)  
~2月19日(金)

お電話は 土・日・祝日を除く 8:30~  
17:15の間をお願いします。

申込み・問合せ: 学校教育支援センター  
03-6385-9911(代表)

※通訳あり  
協力: NPO法人 八丈島観光レクリエーション研究会

2013年から八丈島にて、小学生から高校生対象の「八丈サイ  
エンスクラブ」で生き物の様々な不思議や興味深い観察・  
実験を紹介するなど科学教育を積極的に支援しています。

## 平成28年度ジュニアリーダー養成講習会の受講生を募集します

小学5・6年生と中学生を対象に、仲間作りのリーダーとして役立つよう、  
グループ活動の楽しさやルール、レクリエーション活動の技術や知識などを  
体験しながら学ぶジュニアリーダー養成講習会の受講生を募集します。運営・  
指導は練馬区青少年委員会と、ジュニアリーダー養成講習会を修了した高校  
生以上の青年リーダーが行います。受講生は講習会の後、地域の活動へ参加  
しています。詳しくは、区立小中学校で配布する募集案内または区ホーム  
ページをご覧ください。平成28年2月17日(水)(消印有効)までにお申込みください。

※区立小中学生以外の方はお問合せください。

【問合せ】青少年課 青少年係〔電話 5984-4691〕



## 青少年育成地区委員会の紹介



区内には17の地区委員会があり、青少年育成地区委員が子供たちのために地  
域の特色を生かした行事や良好な社会環境づくりを行っています。

今回は、大泉西地区委員会の「親子ミニ運動会」について紹介します。

毎年、9月半ばの日曜日に「親子ミニ運動会」を実施しています。小学校の運動  
会では行われない種目を中心にした運動を親子で楽しめます。種目は、さかなさが  
し、仮装競争、障害物競争、パンくい競争、しっぽとり、親子デカぱんなどです。  
親子デカぱんは、大きなパンツに親子で入り走ります。そのコミカルな動きは、皆  
の笑いを誘います。また、パンくい競争は大人気。大きな口をあけてぶら下がって  
いるパンを一生懸命取ろうとする仕草は、コミカルです。

子供、保護者、地区委員合わせて650名参加の「親子ミニ運動会」は、大泉西地  
区委員会の大きな行事の一つです。

【問合せ】青少年課 青少年係〔電話 5984-4691〕



## 出前教育委員会を実施しています

教育委員会の役割や仕組みについて理解を深め、より身近に感じていただくために、教育委員が区立学校に出向いて会議を開く出前教育委員会を実施しています。

今年度は、光が丘春の風小学校（5月）、中村小学校（6月）、小中一貫教育校大泉桜学園（7月）、関町小学校（10月）の4校で行いました。

学校で出前教育委員会を行う際には、教育委員が児童・生徒や保護者の方々から直接、意見や要望をお聞きする意見交換会も併せて実施しています。

小中一貫教育校大泉桜学園と関町小学校では保護者の代表の方々と、光が丘春の風小学校と中村小学校では児童の代表の皆さんと意見交換を行いました。意見交換会でいただいた質問の一部を要約してご紹介します。

### 保護者

**質問：教育委員会はどのような仕事をしているのですか。**

回答：教育委員会は、学校施設の管理や教職員の人事、子供たちの転入学などに関する事務を行っています。また、練馬区の教育方針を決めたり、教科書を採択することも教育委員会の仕事です。さらに、先生方を対象とした研修を行ったり、給食を提供する仕組みを整えることも教育委員会の仕事です。このほかにも、練馬区では、保育園や学童クラブなど、生まれてから18歳ぐらいになるまでの子供全体に関する仕事を教育委員会で行っています。

**質問：学校内の洋式トイレを増やすことは可能でしょうか。**

回答：各学校1系統の洋式トイレ化に取り組んでいます。練馬区内には100校近くの学校があるため、すぐに全校のトイレ改修を行うことはできませんが、可能な限り早期に改修ができるよう、引き続き努力していきます。

### 児童

**質問：どうして土曜授業があるのですか。第二土曜日に登校日なのはなぜですか。**

回答：練馬区では、平成14年度から全ての土曜日を休みとしていましたが、必要な授業時間数を確保するため、平成24年度から月1回、土曜授業を行うよう変更しました。また、児童・生徒の生活や勉強のリズムや、第三土曜日・第四土曜日は春休み・夏休み・冬休みに重なってしまうことなどを考えると、第二土曜日を登校日とすることが良いと考えました。

**質問：なぜ来年度から三学期制になるのですか。**

回答：練馬区では二学期制に移行してから7年が経ちました。これを機にアンケート調査を行ったところ、学期ごとの子供たちの気持ちの切り替えが難しいこと、年間に2回しか評価を行わないため、きめ細かい評価が難しいことなど、二学期制の問題点が分かってきました。そこで、このアンケートの結果を受け検討した結果、二学期制の良い点を残しながら新たな三学期制へと移行することを決めました。



意見交換会の様子（中村小学校）



教育委員も一緒に給食をいただきました  
（小中一貫教育校大泉桜学園）

※ 意見交換会の概要はホームページに掲載しています。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikuiinkai/ikenkoukankai.html>

【問合せ】 教育総務課 庶務係〔電話 5984-5609〕

## 教育委員会の動き（平成27年10月～12月）

平成27年10月から12月までの教育委員会は、定例会6回を開催しました。

主な議案、視察等は下記のとおりです。詳細については、教育委員会ホームページまたは【問合せ】にてご確認ください。

【議案】 ・平成27年度練馬区教育委員会の点検・評価に関する有識者について （他6件）

【協議】 ・平成27年度教育に関する事務の管理等に係る点検・評価について

【視察】 ・関町小学校における授業

### ～教育委員会は傍聴できます～

教育委員会では、教育行政全般について、審議・決定しています。開催日、議題およびこれまでに開催した会議の内容については、教育委員会ホームページに掲載しています。会議はどなたでも傍聴できます。傍聴を希望する方は、開催場所を確認の上、開催当日に手続をしてください。なお、傍聴の受付は会議開始時刻の30分前から始め、傍聴者が18名に達した時点（原則として先着順）で締め切らせていただきます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikuiinkai/index.html>

【問合せ】 教育総務課 庶務係〔電話 5984-5609〕

# 新しい年を迎えて ～教育委員会からのごあいさつ～



## 総合教育会議

教育長 河口 浩

昨年4月、「総合教育会議」が設置されました。これは、区長と教育委員会が胸襟を開いて話し合うことで、練馬区の教育や子育て施策をもっと充実させようとするものです。これまでに5回開催しました。そこでは、教育・子育ての重点取組などを定める「教育・子育て大綱」について協議を重ねました。「大綱」はこの2月には策定される予定です。

皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



## 皆で育てる

委員 外松 和子

委員会では「みどりの風吹くまちビジョン」の元、皆様の子育て支援を着々と進めております。

教育・子育て・家庭での悩み、不安などは一人で抱えず、委員会・支援センター等にお寄せ下さい。皆で助け合い、協力して未来ある子供たちを育てて参りたいと思います。



## これからの教育環境を見据えて

委員 安藏 誠市

一昨年从小・中学校教科書採択で新しい教科書が決まりました。また、28年度从小・中学校は新たな3学期制に移行します。他にも教育委員会制度改正が昨年実施され、練馬区ではいち早く練馬区長・教育委員会で構成される総合教育会議を実施、練馬区教育大綱策定に着手しました。今年は、社会情勢の変化とともに教育行政も大きく変化を求められ、その実現に一歩を踏み出す年でもあります。子供たちが生き生きと生活できる環境の充実引き続き尽力して参りたいと思います。



## 子供たちの未来のために

委員 長島 良介

2年目の教育委員会は、中学校教科書採択、総合教育会議、3学期制への移行や保育の問題等、教育委員としての責任や役割の大きさと様々な問題解決が急務であると感じました。その中で感じたことは、やはり子供たちが夢を持って諦めずに未来に向かって進んでいける環境を我々大人が作っていかねばいけないということです。今、教育委員としてできること、保護者としてできることは何かを考え行動し、子供たちにとって理想の環境づくりに努めて参りたいと考えています。



## 子供たちに温かな目を向けて

委員 坂口 節子

昨年10月に就任しました。短い体験ながら未来を担っていく子供たちのために、教育に向けられる各関係者の熱い思いに感動しております。公教育はどの子供にも、等しく学ぶ環境が整えられることを目指しています。練馬区の乳幼児から小・中学生まですべての子供の笑顔を喜びとし、辛い涙にも応えられる大人でありたいと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。